

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 20 週 (5 月 16 日～5 月 22 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

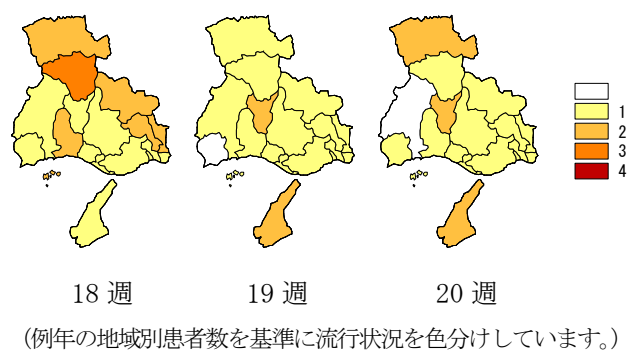
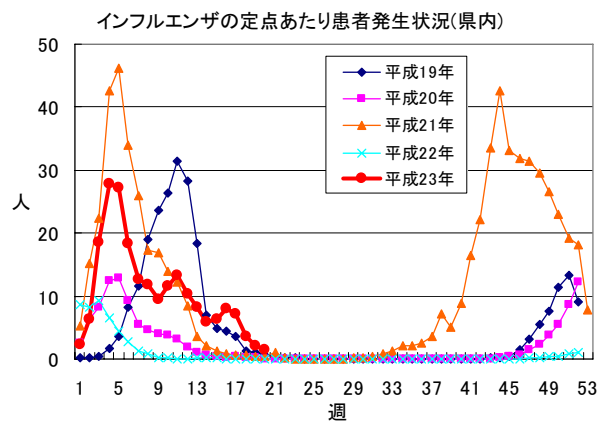
インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **1.56 人** (先週の 2.09 人) と減少しました。中播磨保健所管内のみ定点あたり 10 人以上となっています。

全国的には、北海道、長崎県、沖縄県の 3 道県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の 8 県に注意報レベルの保健所管内があります。

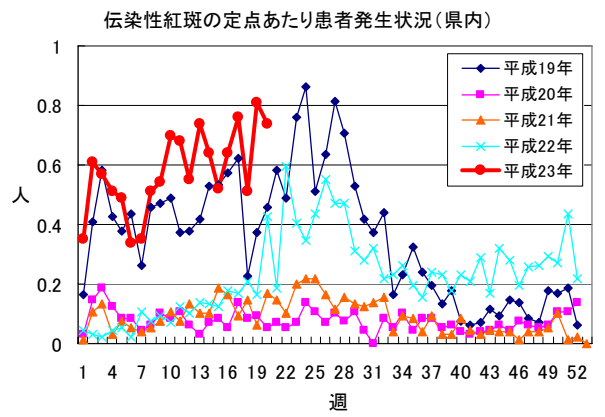
兵庫県立健康生活科学研究所：健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに 272 検体のインフルエンザウイルスを検出していますが、そのうち 5 月以降に検出されたのは 18 検体で、内訳は AH1 2009 (いわゆる新型インフルエンザ) 1 件 (6%)、A 香港型 (AH3 亜型) 8 件 (44%)、B 型 9 件 (50%) となっています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



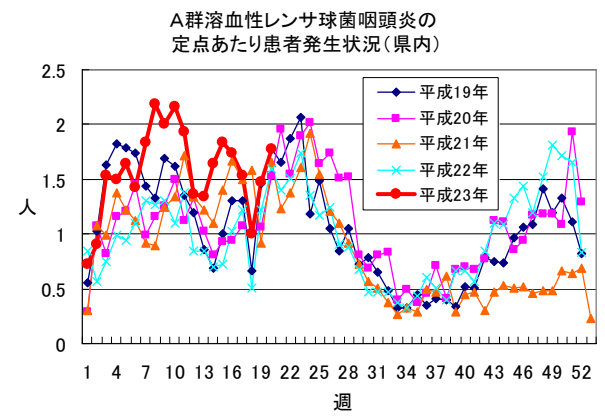
伝染性紅斑

定点あたり患者数は今週 **0.74 人** (先週は 0.81 人) と減少しました。例年に比べて患者数が多い傾向がみられます。



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点あたり患者数は今週 **1.78 人** (先週は 1.47 人) と増加しました。幼児、学童・生徒を中心に学校、家庭などの集団での発生が多く、注意が必要です。



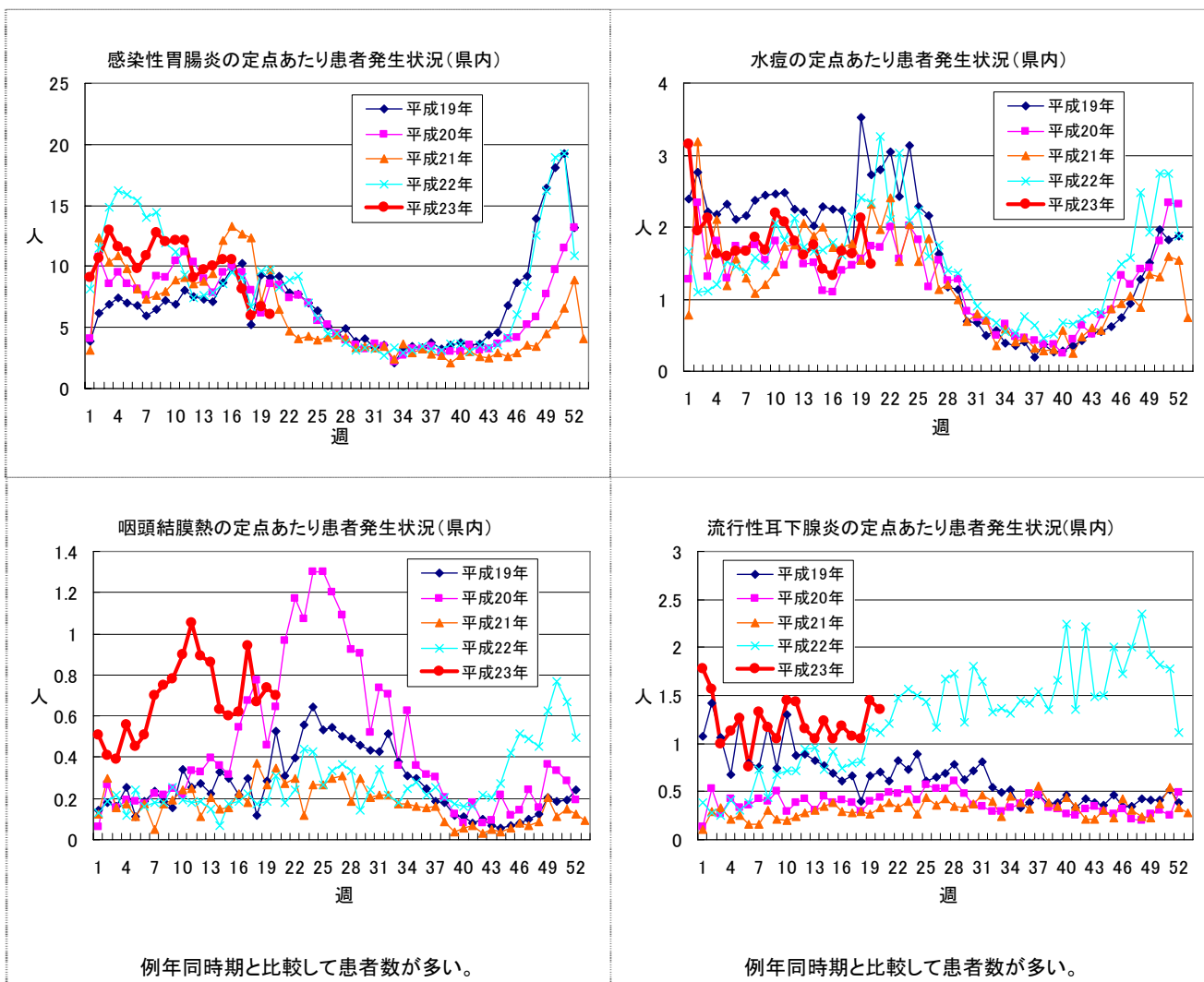
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	6.06	6.66	-0.60	6 位	伝染性紅斑	0.74	0.81	-0.07
2 位	A 群溶血性レン球菌咽頭炎	1.78	1.47	+0.31	7 位	咽頭結膜熱	0.70	0.74	-0.04
3 位	インフルエンザ	1.56	2.09	-0.53	8 位	突発性発しん	0.48	0.61	-0.13
4 位	水痘	1.49	2.12	-0.63	9 位	流行性角結膜炎	0.43	0.71	-0.28
5 位	流行性耳下腺炎	1.36	1.45	-0.09	10 位	手足口病	0.40	0.18	+0.22

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 27 名 （神戸市 7 名、尼崎市 5 名、姫路市 1 名、西宮市 2 名、宝塚保健所管内 2 名、明石保健所管内 4 名、加古川保健所管内 1 名、加東保健所管内 1 名、龍野保健所管内 2 名、赤穂保健所管内 1 名、朝来保健所管内 1 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4 名 （有症者 4 名、うち HUS 1 名） （神戸市；O157 VT2+ 男性 30 歳代、O121 VT2+ 男性 20 歳代、O157 HUS 女性 2 歳、明石保健所管内；O157 VT2+ 女性 10 歳代）（累積報告数 16 名；有症者 11 名、うち HUS 1 名）
4 類感染症	レジオネラ症 1 名 （神戸市；肺炎型 男性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；水系感染）
5 類感染症	アメーバ赤痢 2 名 （尼崎市；腸管アメーバ症 男性 50 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不詳、朝来保健所管内；腸管アメーバ症 男性 40 歳代 感染地域；国内、感染経路；異性間性的接触）、 ウイルス性肝炎 1 名 （神戸市；B 型 男性 20 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不詳）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）
追加報告	結核 6 名 （尼崎市 1 名、明石保健所管内 3 名、洲本保健所管内 2 名）、 アメーバ赤痢 1 名 （赤穂保健所管内；腸管外アメーバ症 男性 50 歳代 感染地域；国外、感染経路；経口感染）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。